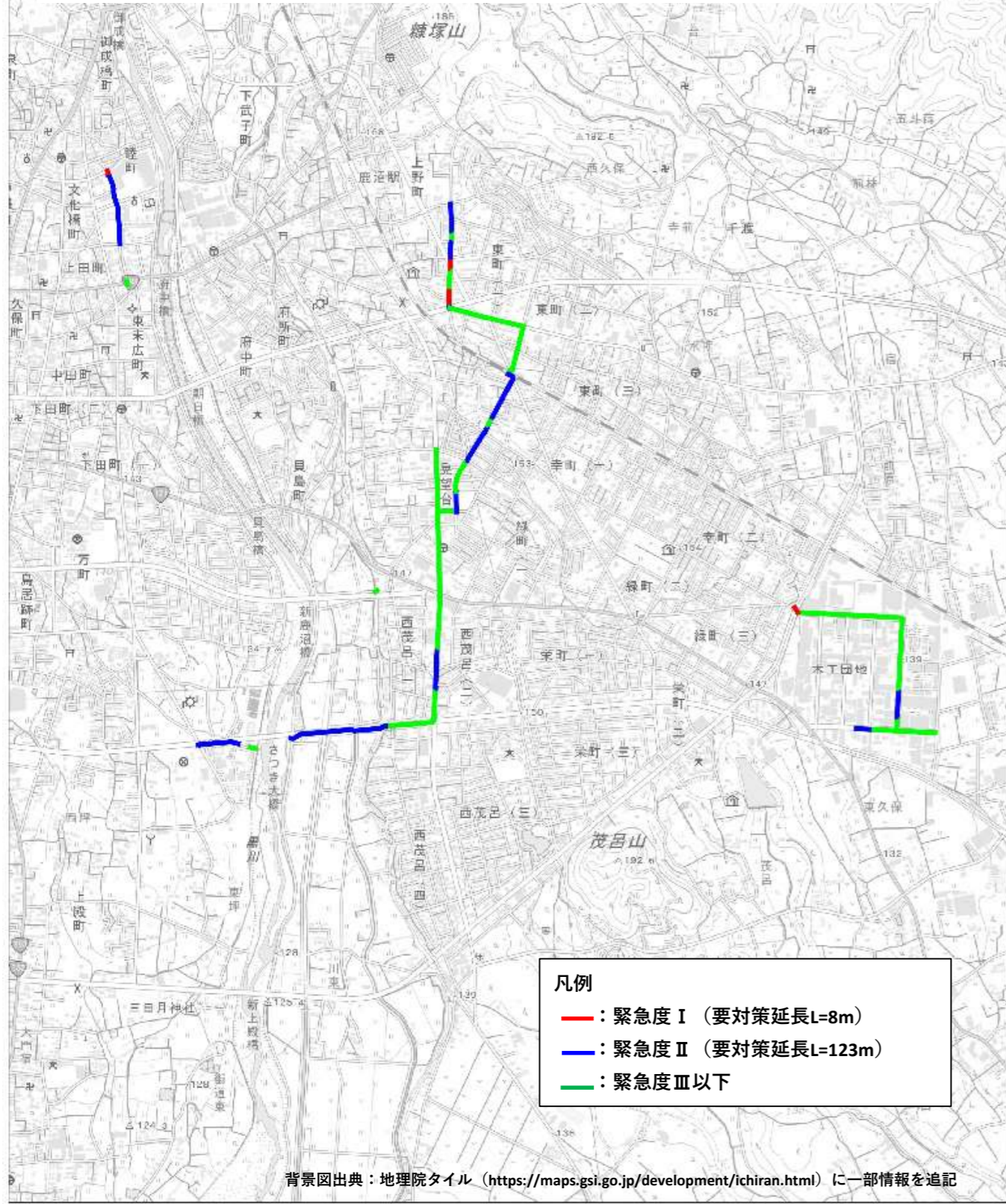


1. 大規模下水道管路特別重点調査業務委託の概要

令和7年度 調査対象路線位置図

○管路施設調査の概要

国の要請により鹿沼市公共下水道事業にて管理する下水道管路施設のうち大規模道路陥没を引き起こすおそれのある大口径かつ布設年度が古い下水道管路施設 (L=4,930m) の劣化調査をおこなった。また、劣化調査にて緊急度ⅠおよびⅡの路線に対して道路面からの電磁誘導探査による空洞調査を実施した。



2. 潜行目視調査について

大口径の雨水管に対して潜行目視による調査を実施した (図1参照)。調査の結果、早期に対処が必要となる緊急度ⅠおよびⅡは全体の約40%となる1.9kmが発見された (表1および図3参照)。

また、伏越し部の調査を実施するために帯水している雨水の排水作業も実施した (図2参照)。

図1 潜行目視調査状況写真



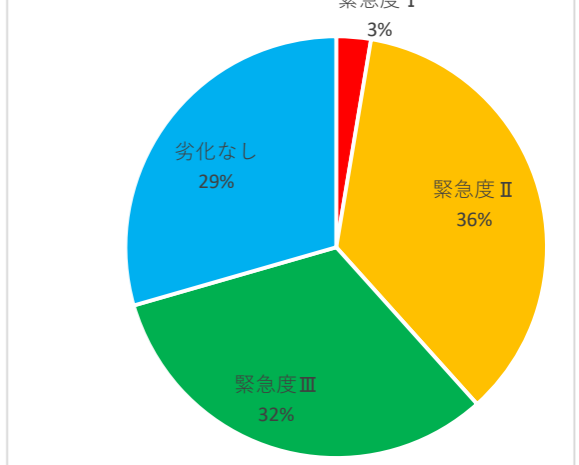
図2 伏越し部排水状況写真



表1 緊急度別延長集計表

緊急度	延長 (m)	備考
緊急度Ⅰ	130.09	空洞調査対象
緊急度Ⅱ	1761.9	
緊急度Ⅲ	1586.05	
劣化なし	1452.82	
合計	4930.86	

図3 緊急度別延長割合



3. 空洞調査について

潜行目視調査にて緊急度Ⅰおよび緊急度Ⅱと判定された管路施設に対して道路面から電磁誘導探査による空洞調査をおこなった。空洞調査は専用車両による車道の調査と、歩道用の専用機器による歩道調査のそれぞれを実施した (図4および図5参照)。

図4 空洞調査状況写真 (車道部)



図5 空洞調査状況写真 (歩道部)



空洞調査の結果、道路面から1.5mの深さにおいて空洞は確認されなかった。

図6 空洞調査解析データ (例)

